

# かながわの交通 2020 9

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)  
 ~一般部門(B)~ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

## 夕暮れの一番星は 反射材

反射材確認! お先にどうぞ!

反射材! 安全確認! ライト点灯 安全運転!

9月30日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です  
**秋の全国交通安全運動**  
 令和2年9月21日(月)~9月30日(水)

内閣府

- 子供を助めよう 歩行者の安全と自転車の安全運転の確保
- 高齢運転者等の安全運転の励み
- 夕暮れ時と夜間の交通安全増進と飲酒運転等の危険運転の防止
- スマートフォンの使用による運転中の見逃し防止
- 交通安全の推進

秋の全国交通安全運動ポスター



### 道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵!** 運転者も歩行者もルールを守って交通事故防止に努めましょう!

歩行者事故多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和2年8月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
令和2年		12,703	90	14,780	県人口	9,217,098	4,593,095	4,624,003
令和元年		15,197	91	17,945	免許人口	5,633,956	3,210,680	2,423,276
増減数		-2,494	-1	-3,165	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-16.4%	-1.1%	-17.6%				

(県人口は令和2年7月1日、免許人口は令和2年7月末現在)



ホームページ

# 令和2年度 秋の全国交通安全運動

～ 9月21日(月)から9月30日(水)の10日間 ～

## 目的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

## スローガン

- ・安全は 心と時間の ゆとりから
- ・高齢者 模範を示そう 交通マナー

## 重点

- 1 子どもを始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
- 2 高齢運転者等の安全運転の励行
- 3 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止
- 4 二輪車の交通事故防止



ゼロティッシュ

## 9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」

## 中原交通安全児童指導員の紹介

中原交通安全協会は協会発足以来、交通安全教育に力を入れており、特に子供の自主的な交通安全活動を促進するため、昭和57年から区内小学校高学年による「中原交通安全児童指導員」制度を行っており、今年も12名の児童が中原警察署長から委嘱状を受け取りました。

毎年恒例の「春の全国交通安全運動」でのお披露目が新型コロナウイルス感染症対策で出来なくなりましたが、「夏の交通事故防止運動」から活動を開始しました。

まだ新型コロナウイルス感染症が終息してないので、大人数が集まるキャンペーンは出来ませんが、子供達は少人数での啓発活動を行っているので紹介いたします。



## 交通事故を一件でも防止しましょう

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、新型コロナウイルス感染症対策の中、交通事故防止活動に取り組んでいただいている各地区交通安全協会に、「秋の全国交通安全運動」で活用していただくため「啓発グッズ(反射材等)」を事前に配布させていただきました。

是非、悲惨な交通事故を防止するため、交通安全広報・啓発活動等に活用してください。少人数(10人未満)でポイントを絞り、局地的に活発な活動をお願いします。



### 《二輪車安全運転指導員への道》

二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進するため「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を行います。

二輪車のメーカー・販売・修理等の仕事に従事する方々をはじめ、二輪車を愛し、二輪車の快適さ、そして安全運転技能・マインドを、ライダーに伝えたい多くの皆様のご応募をお待ちしています。

① 日時 令和2年10月10日(土)

《養成講習会 … 8:30～12:00》

《資格審査 … 13:00～16:30》

※ 養成講習会修了者でなければ、資格審査は受けられません。

② 場所 神奈川県警察運転免許センター

③ 応募資格基準

20歳以上で、二輪免許又は原付免許を持ち、その運転経験が3年以上あり、過去3年以内に行政処分を受けたことがなく、かつ悪質な交通違反を犯していないこと。その他、二輪車安全運転指導員としてふさわしい者であること。

※ 運転記録証明書がないと受講できませんので、必ず持参してください。

④ 内容

○ 養成講習会 ～ 適性検査、法令講習、法令試験、実技講習

○ 資格審査 ～ 面接審査、書面審査

⑤ 費用

○ 講習会、資格審査料 ～ 3,500円

○ 合格した場合の資格認定料 ～ 3,000円

⑥ 服装等

服装は、二輪車の乗車に適したものとし、ヘルメット、プロテクターを持参してください。

(プロテクター借用希望者は、申込用紙所定欄に記載する。)

※1 実技審査は、受験者の持ち込み車両で実施しますが、最終合格の場合、審査時に使用したその車両(原付・普通二輪・大型二輪)以下の二輪運転者の指導が可能となります。

※2 申込用紙は二輪車販売店、県交通安全協会にあります。詳細は県交通安全協会ホームページをご覧ください。



## 新任事務長紹介 ～ よろしくお願ひします ～

川崎交通安全協会 吉田聡一郎 事務長

皆様、はじめまして。

私は、今年7月1日から川崎交通安全協会事務長として勤務しております吉田と申します。

勤務先である川崎警察署は、警察学校を卒業した後、私が初めて警察官として赴任した署で、特に思い入れが強い署です。

その後、平成29年3月に山手警察署で定年を迎えました。前任の事務長は、10年以上の長きにわたり勤務して業務に精通され、地元の方の信頼も厚い方でした。

私自身も川崎区に住み、地元に対する恩返しの意味もあるところから、前事務長から事務長職の誘いを受けた際、何の迷いもなくお受けしました。

こちらの川崎警察署管内は川崎市内でも特に、平坦地が多く、自転車利用者の比率も高いところから自転車にかかわる交通事故が多発しております。

このような、悲惨な交通事故を一件でも減らし安全・安心な川崎の街の実現のため、着任したばかりで前事務長の足元にも及びませんが、川崎警察署をはじめ関係機関・団体と連携協力して業務に精励したいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



## 令和3年使用 交通安全ポスターデザイン募集

- ◆ 主催 一般財団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社
- ◆ 後援 内閣府、警察庁等
- ◆ 募集部門及び応募資格

- ☆一般部門A＝運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの…誰でも応募可
- ☆一般部門B＝歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの…誰でも応募可
- ☆こども部門＝子供たちに交通安全を呼びかけるもの…中学生以下のみ応募可

### ◆ 応募要領

◎募集期間 令和2年11月下旬～令和3年1月31日（当日消印有効）

### ◎募集内容

#### ① ポスターに使用するスローガン

各部門とも「令和3年使用交通安全年間スローガン」の内閣総理大臣賞受賞作品（令和2年11月下旬発表予定）を原文のまま使用すること。原文の漢字をひらがなやカタカナにしたり、句読点や括弧を付けるなど変形させた場合は審査対象とならない

#### ② 作品サイズ

一般部門A、B B3判またはB3版相当の四つ切り用紙縦位置に限る

こども部門 B3判またはB3版相当の四つ切り用紙縦・横位置自由

（注）印刷用のトンボ（断裁位置の目印）や余白は不要。障がい等で上記作品サイズを描くことが困難な場合は、「交通安全ポスター」事務局にお問い合わせください

#### ③ 制作上の注意

本ポスターデザインは交通安全を訴えるものであることから、交通ルールを順守したものとし、制作に当たっては、特に以下の点に注意すること。ただし、危険性を訴える目的で信号機を擬人化するなど、制作上必要性が認められる場合は審査の際に考慮する

- ・信号機、標識、標示等を正しく描く
- ・車内の人物にはシートベルトまたはチャイルドシートを着用させる
- ・自転車を素材にする場合は、ブレーキ等車体と乗り方を正しく描く

#### ④ 自作、未発表の作品に限る。他者の知的所有権を侵害しないこと。他者の作品や顔写真、商品、商標等が作品中に含まれていると判断された場合は審査の対象とならない

#### ⑤ 応募点数に制限はもうけない。共同制作も可

#### ⑥ パソコンによる制作、レタリングやイラストレーションの使用、写真のデザイン化も可

### ◆ 問い合わせ先 毎日企画サービス内「交通安全ポスター」事務局

（TEL：03-6256-6815 平日午前10時～午後5時）

### ◆ 送り先 〒262-0003 千葉県花見川区宇那谷町1501-2

株式会社ベターサービス「交通安全ポスター」係

### ◆ 発表 令和3年3月中旬の毎日新聞紙上とホームページ、NHKテレビなど



（令和2年神奈川県 九根次蓮華さんの作品）

交通事故の悲劇に学ぶ ⑧4

●「後悔のなかで」

運送業(29歳)

3年前の夏のことです。当時、私は4tトラックで深夜の配送をしていました。4年近くもの間、昼夜逆転の生活が続いていました。「慣れ」と言いますか、「若かったから」と言いますか、休日はもちろん日中も遊びに行き、仕事に行く前に1時間から2時間だけの仮眠で済ませていました。「休憩中に約2時間寝ることができるから」と全く眠らずに仕事に行く時もありました。プロドライバーという立場を本当に軽く考えていたと思います。その日もまったく仮眠を取らず、仕事に行きました。ソファに横になり、DVDを見て、「休憩で眠るから大丈夫、大丈夫」と本当に軽く考えていました。今思えば本当に恥かしいくらい車の運転を軽率に考えていたと思います。しかし、その日は運悪く、同じ会社の人が仕事でミスをしてしまい、私が手伝いに行くことになってしまい、休憩時間も仮眠することもできずに休憩時間が終わりました。朝方、最後の配送を終え、後は会社まで約60キロの道のりを安全に帰るだけでした。30キロほど走った頃でしょうか、次第に眠気が襲ってきました。それでも窓を開け、煙草を吸いコーヒーを飲みながら、「眠いけど、こんなことは今までにも何回かあったし、俺が事故なんか起こすはずがない」と運転を続け、取り返しのつかない大事故を起こしてしまいました。「あの時、運転を止め、少しでも仮眠していれば」と思うと、悔やんでも悔やみ切れません。私が起こした事故は起こるべくして起きた事故であり、全ての責任は私にあると心の底から反省しております。

私の起こした事故により亡くなられた被害者や、両脚切断という重い後遺症を負わせてしまった被害者、頸椎捻挫とPTSDを負わせてしまった被害者、そして被害者のご遺族の方々に本当に大変申し訳ないことをしたと毎日反省させていただいております。

私が起こした事故は、居眠り運転による追突事故です。時速60km、ノーブレーキで前方道路上において作業中の車に追突しました。今考えても本当に恐ろしく怖いことです。私は意識がないまま何百メートルの間、運転していたのです。そして、追突と同時に目が覚めました。一瞬何が起こったのか分かりませんでしたが、フロントガラスがひび割れ、目の前には作業車の荷台の上で横たわる人が目に入った瞬間に「事故を起こしてしまった」ことに気付き、すぐに車から外に出ました。まさに地獄そのものの光景に思えました。亡くなられた方はトラックの下に巻き込まれていました。救急車を呼び、到着するまでの間、必死に呼び掛け、脚から血を



流している方や作業車を運転していた方などにタオルやペットボトルの水を持っていきました。しかし、この間は何も音が耳に入らず、目の前で起きていることがすべてスローモーションのように見え、現実のことは思えませんでした。

救急車と警察の方が到着し、私はその場で現行犯逮捕され、そのまま留置場で一夜を明かしました。「もう俺の人生終わった」と思い、目の前には絶望しかありませんでした。取調べで被害者の一人の方が亡くなり、もう一人の方は脚を切断しなくては行けないと聞き、涙が止まりませんでした。「なんてことをしてしまったのだ、自分は無傷なのに、自分が死ぬべきだった、自分が脚を切断されるべきだった」など、本当に悔んでも悔み切れません。

釈放後、私は両親と被害者、被害者ご遺族のもとへ謝罪に向わせていただきました。皆様はショックと悲しみ、そして怒りで涙を流されていました。その時改めて被害者はもとよりのこと、ご遺族の人生までも奪ってしまったのだと思いました。

しかし、謝罪しても決して許されるものではありません。その後、私は裁判で禁錮2年8月の実刑判決を受け、今は市原刑務所で自分の犯した罪と向き合い、反省の日々を送っております。3名の被害者のうち、2名とは示談していただきましたが、1名は未だに通院・手術を繰り返され、示談に至っていません。また示談が終わったからといって、刑務所から出たからといって私の犯した罪が許されることは決してありません。私は残りの一生を掛けて自分の犯した過ちと向き合い、謝罪し、償いとして何ができるかを考え生きて行くつもりです。

被害者、ご遺族の方、私の家族、そして交際していた彼女…多くの人の人生を狂わせてしまった私の責任は想像を絶するほど大きいものです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第54集)」から～

## 交通安全資機材の紹介

交通安全協会では、交通安全教育などに活用していただくため、下表の交通安全資機材等を整備しています。ご利用申し込みを、お待ちしております。

名称と特徴	写 真
<p>《反射材体験BOX》</p> <p>靴やカバンに取り付ける反射材シールなど各種反射材の効果を確認できる反射材体験BOXで、片手で楽に支えられるほど非常に軽く、持ち運びに便利です。</p>	
<p>《クイックアーム（通称「ミニ点灯くん」）》</p> <p>持ち運び便利、設定も簡単でゲーム感覚があり、楽しみながら自分の俊敏性、推定年齢を知ることができ、特に高齢者の方にはご自分の肉体的変化を客観的に見る機会を与え、運転する際の注意を促します。</p>	 <p>2台 (4台)</p>
<p>《高齢者疑似体験セット》</p> <p>お年寄りの身体機能の低下を、おもりのついたスリッパやサポーターなどの体験セットで、高齢者の不自由さや気持ちを体験、地域の高齢者に対する接し方や生活環境を考えることができます。</p>	 <p>3セット (9セット)</p>
<p>《自転車シミュレータ（ホンダ）》</p> <p>身近な場所の走行体験ができ、安全運転に役立つ「ルールやマナーの学習」と「危険予測トレーニング」が楽しく学べる。走行再生機能で2つの視点から確認し、走行内容に応じた結果が表示されます。</p>	 <p>1台 (4台)</p>

## 交通安全DVD（レンタル）の紹介

県交通安全協会では、高齢者事故の増加や自転車利用者の交通ルール無視、マナーの低下による交通事故が多発していることから、これら高齢者や自転車利用者に注意喚起するほか、自動車運転者の視点からも交通事故防止に役立つDVDのレンタルを行っています。

各種交通安全活動、交通安全教室、企業における交通安全講習などにご利用ください。

※ 個人に対するレンタルは行っておりません

### 【レンタル ベスト5】

番号	タイトル	ジャンル	上映時間
①	従業員の交通事故と企業リスク	運転者	22分
②	ドライブレコーダーは見た！ドライバーの心理から考える安全運転	運転者	15分
③	ドライブレコーダーからの警告！ あなたの運転は大丈夫か？	運転者	25分
④	死角に潜む危険 事故事例に学ぶ危険予測	運転者	24分
⑤	事故映像と実験に学ぶ・安全運転講座	運転者	15分



この人

173



藤沢北交通安全協会  
会長  
安西 昂さん  
あにし のぼる



藤沢北交通安全協会は、昭和59年4月1日、藤沢警察署が2分割され、その北部を管轄する藤沢北警察署発足と同時に設立されました。

藤沢市北部では、古くから住民の足となっている小田急江ノ島線に、平成11年、相鉄いずみ野線と横浜市営地下鉄が相次いで湘南台まで延伸して乗り入れ、湘南台駅を中心に商店街、住宅街を形成し、躍進を続けています。

また、基幹道路である国道467号や主要県道が縦横に走り、物流等の大動脈として自動車交通量も増加の一途を辿っています。

この藤沢市北部を管轄する藤沢北交通安全協会の安西会長は、藤沢市長後に生まれ育ち、湘南台にて酒店を営んでおりましたが、現在はご子息が経営する接骨院を陰ながら支える傍ら、趣味のグランドゴルフで健康維持を図っています。

平成元年に交通安全協会湘南台支部代議員(当時は評議員)に就任され、その後交通指導員、湘南台支部長、協会理事、常任理事、副会長を歴任され、平成27年5月に第5代会長に推挙されました。平成19年には長年の交通安全功労が認められ、交通栄誉

賞緑十字銀章を受賞されているほか、消防分団長、湘南台地区交通安全対策協議会会長などを歴任された功労で数々の賞を受賞されています。

藤沢北交通安全協会には理事、交通指導員、代議員が約120名おり、安西会長はその大所帯の先頭に立ち、常に強力なリーダーシップを発揮し、各季の交通安全運動等における街頭指導、街頭広報、街頭監視活動等に率先して参加し、他の役員の模範となっております。

藤沢北警察署管内では、昨年も3件の死亡事故が発生し、また最近特に増加傾向にある自転車による交通事故にも会長は心を痛めております。

また「二輪車、高齢者及び自転車のマナーアップを図り、交通安全意識の普及高揚により管内での交通死亡事故ゼロを究極の目標として、今後も交通安全活動を推進していきたい。」とも話しております。今後とも健康に留意され、藤沢市の交通安全に活躍していただきたいと願っております。

取材協力：藤沢北交通安全協会

こんにちは

「(一財)浦賀交通安全協会」です

浦賀交通安全協会は、昭和26年に設立され、交通安全、交通事故防止に向けた活動が、今年で69年が過ぎようとしております。

今年10月に、浦賀警察署が久里浜に移転するため、当協会も同時進行で移転の準備を進めているところであります。その一環として、昨年は一般財団法人の登記を行いました。

また、警察署の移転に伴い、地域住民から安全安心の確保として、跡地に交番設置の要望がありました。当協会としても地域の要望を速やかに叶えるために、県と協議を重ね、既存の建物を県に無償提供することにより交番として生まれ変わることとなり、移転に際し地域のために、多少なり貢献が出来ることになりま

した。

昨年、当協会では、地域の交通事故発生状況から「高齢者と二輪車」の発生がそれぞれ30パーセントを超えていることから、高齢者と二輪車の交通事故防止を重点として、各季の交通安全運動等において、警察署、横須賀市をはじめ関係団体の方々のご協力、ご支援をいただきながら、各種キャンペーンを行うなど広く交通安全をアピールしてまいりました。その結果、当協会地区の交通事故件数、負傷者数、死者数はいずれも減少するなど、成果を収めることが出来ました。

具体的には、幼児、園児に対する歩行安全教室、小学生を対象とした自転車教室のほか、街頭での自転車・二輪車指導点検、高齢者を対象とした居宅訪問と反射材の



普及促進活動や交通安全教室などを開催するとともに、ドライバーを対象としたシートベルト着装キャンペーンやハンドルキーパー運動など幅広く活動をしてまいりました。

現在、新型コロナウイルスが猛威を奮っているなか、今後の協会としての交通安全活動は、警察署、関係団体等と社会状況を鑑み、出来る限りの活動を目指して行きたいと思っております。

(荻野 記)

## 地区交通安全協会の活動紹介



中原 武蔵新城駅周辺での交通安全キャンペーン



多摩 多摩川ふれあいロードでの交通安全キャンペーン



相模原 淵野辺駅前での交通安全キャンペーン



山手 大鳥小学校での交通安全教室



都筑 センター南駅周辺での交通安全キャンペーン



海老名市 「ひまわりの絆プロジェクト」交通安全キャンペーン



藤沢北 県道43号線での夜間街灯監視



泉 上飯田中学校での自転車教室

# 交通安全活動

## インフォメーション

- 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査 ————— 10月10日(土) 運転免許センター
- 二輪車安全運転講習 ————— 10月17日(土) 運転免許センター

## 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をお願いしている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- サンエス技研(株) ————— 横浜市都筑区北山田
- (株)二俣川自動車学校 ————— 横浜市旭区中尾
- 三鈴興業(株)三ツ境自動車教習所 ————— 横浜市瀬谷区二ツ橋町